

## 令和5年度 第2回苫小牧市文化財保護審議会 会議概要

日 時：令和6年3月5日（火）15：00～16：30

会 場：苫小牧市美術博物館

○出席委員 蓑島会長、明村副会長、大西委員、佐藤委員、野村委員  
山岸委員 林崎委員 7名出席  
(欠席3名：菊地委員、工藤委員、中村委員)

○教育委員会 (事務局) 生涯学習課 河本課長、斉藤課長補佐  
南部谷主査 野水主査  
美術博物館 藤原館長、岩波学芸員、岡本学芸員

---

1 開 会 ～ 15：00

2 会長あいさつ

3 行程等

苫小牧市美術博物館見学

- (1) 現在、指定を受けている文化財について
- (2) 次期、文化財指定となりえる候補について

⇒【博物館内での見学、研修】

苫小牧市美術博物館内会議室

- (1) 苫小牧市美術博物館外の文化財と文化財候補の紹介
- (2) 「苫小牧の文化財」冊子作製について
- (3) 明治天皇行幸後 石碑の移転予定について

◆今回の主旨について◆

苫小牧市の文化財を保護するための協議を進めていくためにも、現在ある苫小牧市の文化財について学習する。

【質 疑】(博物館内会議室)

〈委員〉

ニナルカ遺跡赤色顔料付土器の赤色顔料は、函館で出土した土器と同じ顔料か。

⇒【学芸員】

ニナルカ遺跡赤色顔料についてはベンガラと判明しているが、函館の土器については「ベンガラと思われる」としていることから、調査していないものと思われるが、たぶん同じものと考えられています。

〈会長〉

昨年度、タプコプ遺跡出土の土器と鉄製品を市指定文化財としたが、次は近代など、分類の決めなどがあるのか。

⇒【事務局】

特に、現段階では考えていません。指定に関して同じようなものが続かない方が良いなどの確認はしていません。今後、学芸員のみなさんに助言をいただきながら審議会で検討していきたいと思います。

〈委員〉

新しく市指定文化財を認定していくことは必要と思うが、現在指定されている文化財をさらに上の指定（道、国）へ推薦していくなどのことは考えているか。

⇒【事務局】

今後の議論によっては市指定にこだわるものではないので、道、国などの指定に値すると判断したものについては、そのような対応も考えていきたいと思います。

4 閉会 ～ 16:30